

波紋

創刊 1985 年 (昭和 60 年)

2024 年 10 月
No. 472 号



2 日間 合計来場者数 **277 名**
たくさんのご来場誠にありがとうございました！



来年もどうぞよろしくお願い致します

森松展開催

森 直樹（代表取締役社長）



さる 9 月 12 日 (木)、13 日 (金) と開催致しました第 32 回元気が出る森松展、277 名の方に来場頂き、盛況のうちに終了致しました。改めまして森松展の開催にあたりご協力頂きました出展企業の皆様、また来場いただきました皆様に御礼申し上げます。年に一度のイベントですが、より多くの方々に来場頂き、森松とその仕事についての理解を深めていただけるよう、そしてまた新たな御縁を深める事の出来る場となるよう、今後とも継続して参ります。前回の社内報では静止画と動画の情報量の差について書きましたが、今回はオンラインとリアルの違いを強く感じました。人との対話、商品情報のやりとり、いずれも現物を前にして話すことでより深く知ることが出来、また発想も広がっていくように感じます。今後も状況に応じての使い分けが求められるでしょう。次回に向けては、例年行っておりますがまずは今回の反省点を出し、どのように改善するかを協議します。これも毎回続けていますが常になんらかの不具合というのは出てきます。もしなにか新しい取り組みを始めれば必ず何かしらの問題点は出るでしょう。しかしながら代り映えのない展示会であれば当然飽きられてしまいます。新しい事を企画し、試行錯誤を繰り返することで結果より良いものになります。もちろん展示会だけに限らず、仕事も自分自身も常に新しいことに取り組んでいきましょう。



蓼科

村田 恒夫（総務・経理）



猛暑が続く中で妻とどこか涼しいところへ行こうかという話になり、休日の朝一番、喫茶店でモーニングの玉子トーストとコーヒーを飲みながら何処へ行こうか候補地選び、揉めることなく蓼科へ行くことを決め即実行。目的地は、白樺湖影絵美術館、蓼科高原バラクーリングリッシュガーデン（美しい英國庭園で楽しむアフタヌーンティー）に決定。喫茶店を出て、最初に向かったのが白樺湖影絵美術館です。途中で休憩を挟んで約3時間で到着。影絵美術館では、日本を代表する世界的影絵作家「藤城清治」の光と影で表現する絵画「影絵」が多数展示されていました。その中で、展示室の壁全面を埋め尽くす全長30mのパノラマ連作「白樺湖の四季」は幻想的な雰囲気が最高でした。今まで、影絵の作品を見たことがない私にとっては衝撃的でした（感動しました）。藤城清治氏の集大成が那須高原 藤城清治美術館に常設してあるとのことで、近々に行ってみたいなと思いました。白樺湖を後にして、今回のメインである蓼科高原バラクーリングリッシュガーデンに行く途中、たてしな自由農園（ちょっと規模の大きい道の駅）と御射鹿池に寄り目的地に到着。今回のメインは、蓼科高原バラクーリングリッシュガーデンで英国トップパティシエが監修したアフタヌーンティーを楽しむこと。庭園を少し散歩してから、レストランにてローズアフタヌーンティーを注文しました。20分程で3段のティースタンド（ケーキの女王ハンナ・マイルスのレシピによるスイーツと素材を厳選したサンドウイッチを3段のティースタンド）がテーブルへ。サンドウイッチが5種類（アトランティックスモークサーモン＆クリームチーズ他）、スコーンが2種類（バラのスコーン他）、スイーツが4種類にバラクラオリジナル紅茶の豪華セット。お庭を見ながら紅茶と共に軽食やお菓子を楽しむ優雅なお茶会。久しぶりに紅茶を飲みましたが、味に深みがあり本当に美味しかった。暑さから脱出しての1日でしたが有意義に過ごすことができました。

第32回元気が出る森松展を終えて

伊東 義弥（特販部）



今回初めて実行委員長をさせていただきました。32年間継続の森松展、私も入社してから10数回経験をしているので実行委員長でも何とかなるだろうと考えていましたが、これが大きな間違い。手伝いやサブで経験してきたものとは全く違い、とても大変でした。大まかなやることは決まっているものの、いざ準備が始まると足りないことだらけで諸先輩方から教えてもらったり、いろんな方たちに協力をしていただいたおかげで何とか当日を迎えることができました。当日も司会をやったり講演会の準備であったり、ばたばたで歴代の実行委員長のすごさを改めて実感するとともにつたない司会進行など初めてすることばかりでとても緊張したことを覚えています。そんな中でも今回出展いただいた企業様、社員みんなの協力のおかげで何とか2日間を乗り越えるこ

とができほっとしております。縁の下で支えていただいた受付係をしていただいた皆様、昼食準備をしていただいた皆様、駐車場係をしていただいた皆様など、一人ひとりに協力いただけたおかげで第32回元気が出る森松展無事に閉会することができました。本当に皆様、ありがとうございました。今回ご出展いただいた企業の皆様も2日間ブースにて来場いただいたお客様に商品のご紹介をしてくださったり新しい出会いなど有意義な森松展になったのではないかと思います。第33回元気が出る森松展の実行委員長は清水亮太さんです。今年以上に盛り上がる様、社員一丸となって準備して参りますので、皆様来年もぜひご期待ください!!



ゲーム

大石 耕平（東京オフィス）



最近『スプラトゥーン3』で遊んでいる。発売して少し経つが、息子の誕生日に任天堂スイッチと一緒に買ったのだ。今までゲームにはあまり興味が無く、もちろんスイッチも初めて。スプラトゥーンも初めてである。ウィキペディアによれば、スプラトゥーンとはプレイヤーキャラであるインクリングを操作し、武器を用いてインクを放ち、地面を塗って陣地を広げたり、敵にインクを当てることで倒して戦うゲームである。撃ち合いで負けることが多いけれど悔しくて楽しい。そんなスプラ3は記録的な売上をあげている（特に日本では）。「撃ち合いだけで勝敗が決まらない秀逸なゲームシステム」「前作からの正統進化系」「正直いってマンネリはある」等々評価は様々。スプラで遊んでいる人間はプリミティブな衝動に動かされているに違いない。その衝動とは「液体をぶっかけたい」という誰もが多かれ少なかれ持っているものだ。壁に床に柱に液体を塗りつける、発射する。そんなプリミティブな欲望を満たすためにゲーマー達はスプラ3で遊んでいるのだ。大人になった子供たちは他人に壁に、床に液体をかけられない。そんなことすればすぐにお縄頂戴。私も41歳になった。41歳で壁にびやー！床にびっしゃー！なんて出来るか。出来ない。いやいやしたくない。だがスプラ3ならそういった液体をぶっかけたいというストレス発散的な要求を合法的に叶えられる。画面の中で液体を床にぶちまけた刹那、僕らの心の奥からはもっと塗りつぶしたいという独占欲、征服欲が生まれてくる。ナワバリバトルというモードのナワバリ=領土である。スプラ3とは液体を壁に床に柱に人にかけまくるプリミティブな欲望を満たすと同時に、領土を拡張する征服欲を満たす、愚かな人類を満たすためのゲームといえるであろう。世界の独裁者たちよ。ウラジミールよ。ネタニヤフよ。隣国にミサイルを打ちこんでいないで、私とスプラ3で征服欲を満たさないか？そして悲惨な戦争が早くなくなりますように。

デザインマンホール蓋

松井 宣和（製造部）



友達から「北斗の拳」好きだろ？と聞かれ「行くぞ！佐久市に」と。佐久市にはデザインマンホール蓋があり佐久市出身の北斗の拳の漫画家さんと多数のコラボがある。企画の一つに下水道局と協力でマンホールの蓋を各キャラクターや、名シーンを蓋にして佐久市観光コースして北斗七星をイメージした場所に配置して町おこしを行っています。佐久市の周りをウロウロして十ヵ所ぐらいを全部周りスマホに収めました。何組か同じことをしているグループがいました。北斗の拳なのに女性グループもいたのが意外でした。この後この女性グループにとんでもないところで出くわします。名所・旧跡・道の駅など観光コースにマンホールを設置しており、龍岡五稜郭では五稜郭の輪郭を見るのに（函館の場合の五稜郭は近くのタワー）近くの山の展望台へ山道を歩いて登るか、または自動車で車がすれ違えない道を10分程度舗装なし砂利道を走るか。店員さんに教えてもらい、時間がもったいないので車で行くことに。道が想像よりも狭く、レヴォーグで道幅ギリギリ。待避所は何か所かあるが対向車が来たら待避所でもすれ違えないような狭さ。路面は前日の雨で滑る悪路でした。日本には二ヵ所しかない五稜郭ギリギリ互角に見えるかな。頂上駐車場下り途中でレヴォーグに遭遇、私と同じ車種なので親しみを感じるが100M以上バック走行させられる羽目に…。すれ違い時に挨拶をすると、なんと1時間前にあった女性グループでした。目的が同じで観光ルートも同じなので同じ人に出くわすことはよくあることです。次に野沢商店街ピンクロ地蔵尊にお願いを聞いてもらう。佐久平サンクスエア（新幹線ホール）には北斗の拳有名キャラクター「ジャギの銅像」があります。なぜジャギなのかと言うと、ストーリーを描いていく上で重要な役割を果たしたからということです。2ヵ所の道の駅にもマンホールがあり、ついでにフルーツ系の土産を買いました。最後のマンホールが望月歴史民俗資料館内にあり閉館5分前に到着。これですべてのデザインマンホールを撮り終えてミッション終了。望月町で夕食に十割そばを食べ、癒しを求めて近くの布施温泉につかり帰宅。佐久市を満喫出来ました。

モーリングループ年間カレンダー

休業日

2025年1月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2025年2月

日	月	火	水	木	金	土
					1	
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	
30						

2025年3月

日	月	火	水	木	金	土
					1	
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

(注) 都合により変更する場合があります。

2025年4月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

2025年5月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2025年6月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

2025年7月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

2025年8月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2025年9月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

2025年10月

日	月	火	水	木	金	土
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2025年11月

日	月	火	水	木	金	土
					1	
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

2025年12月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

新しい家族

木村 天（東京オフィス）



今年の5月26日に新しい家族を迎きました。私が里親募集のサイトから応募して生後2ヶ月の子猫を引き取ってきました。これで我が家は3匹、人間と同じ数になりました。名前を「すみれ」と名付けかわいがっております。（女の子です）私は大変溺愛しているのですが私にだけ懐きません。割といたずらばかりする4歳の息子には自分から寄って抱っこされるのに私が抱っこするとコの字になって突っ張ってきます。納得できません。そしていつも妻の膝の上で寝ています。そのたびにドヤ顔で妻がこちらを見てくるのですがこれが一番許せません。歯を食いしばり必死で耐える毎日です。なぜこのような仕打ちを受けなければいけないのでしょうか。そんな中でも唯一私に近づいてくれる瞬間があります。仕事から帰宅するとすぐに私の足元に近づいて靴下を狂ったように噛みついてきます。嬉しいような嬉しくないようななんとも言えない気持ちになりますながら5分～10分ほど靴下越しに足を噛まれ続けます。割と痛いです。足以外にも部屋中いろんなところを噛むので結構世話が焼けます。ちなみに寝ている息子の足に毎回噛みついて起こすのですみれは寝室出禁になりました。そんな傍若無人なすみれですが、いつかは私の膝の上で寝もらえると信じて日々の仕事を頑張っていきたいと思います。



あります。仕事から帰宅するとすぐに私の足元に近づいて靴下を狂ったように噛みついてきます。嬉しいような嬉しくないようななんとも言えない気持ちになりますながら5分～10分ほど靴下越しに足を噛まれ続けます。割と痛いです。足以外にも部屋中いろんなところを噛むので結構世話が焼けます。ちなみに寝ている息子の足に毎回噛みついて起こすのですみれは寝室出禁になりました。そんな傍若無人なすみれですが、いつかは私の膝の上で寝もらえると信じて日々の仕事を頑張っていきたいと思います。